

2. 下郷町の植物

(1) 春の植物

◆ 早春の花

まだ雪があちこちにある3月、田んぼの土手や^{ぞうきばやし}雑木林の中を歩くと、雪や落葉を押し分けてひっそりと咲く早春の花に出会う。

長かった冬がおわると、春の訪れをつげるかのように美しい花を咲かせる。花は^{ひと}一株であったり、あるいは^{むら}群がったりして咲いている。フキノトウ・フクジュソウ・オオイヌノフグリ・ツクシ・シュンラン・タンポポなどが咲きはじめる。

その中でも早いのは、山では、マンサク、^{どて}土手ではフクジュソウ、川ばたではフキノトウかな。



【マンサク】(マンサク科)

山の木としては、まっさきに花を咲かせることで知られている。

なぜこんなに早く咲くのでしょうか、きっと何かわけがあるのでしよう。

【キクザキイチリンソウ】

(キンポウゲ科)

春早く咲く美しい花、^{ぐんせい}群生して咲くことがあり、カタクリといっしょに咲き乱れていた。

左下 カタクリ

右下 キクザキイチリンソウ



【フキノトウ】(キク科)

フキの花である。

フキは、^{ちかけい}地下茎をのばしてふえる。

フキには、ツワブキ、ノブキ、アキタブキなどがある。

アキタブキは、葉が大きくて雨傘のかわりにもなる。